

京都大学教育研究振興財団助成事業 成 果 報 告 書

平成30年12月5日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 藤 洋 作 様

所属部局 大学院理学研究科
職 名 教授
氏 名 杉山 弘

助成の種類	平成30年度 ・ 国際会議開催助成			
国際会議名	第45回国際核酸化学シンポジウム The 45th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry 2018 (ISNAC 2018)			
開催期間	平成 30年 11月 7日 ～ 平成 30年 11月 9日			
開催場所	京都大学百周年時計台記念館(百周年時計台記念ホール, 国際交流ホール)			
参加者	総数 339名	内訳 大学 277名(内学生 123名), 企業 62名		
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(プログラム集)			
会計報告	事業に要した経費総額	10,280,153 円		
	うち当財団からの助成額	1,000,000 円		
	その他の資金の出所	第45回国際核酸化学シンポジウム (ISNAC 2018) 参加費収入 21社様からの広告・展示・寄附収入		
	経費の内訳と助成金の使途について			
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)	
	会場費	1,561,680	997,920	
	展示ブース関連費	625,434	0	
	参加登録関連費	1,097,040	0	
	印刷および発送費	1,685,778	0	
	招待講演者関連費	527,743	0	
飲食関連費	2,880,056	0		
人件費	722,600	0		
その他経費	1,179,822	2,080		
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 添付させて頂きました成果の概要に書かせて頂きましたが、3日間16カ国から300名を越える大学の研究者、学生および企業の研究者にご参加頂き、核酸化学に関する最新の研究成果について議論することができました。参加者からは非常に充実した会議とお言葉を頂きました。貴財団からの国際会議開催助成の採択がなければ当シンポジウムの開催は不可能であり、学会一同大変感謝しております。			

成果の概要 / 杉山 弘

第45回国際核酸化学シンポジウム(ISNAC2018)

(共催) 日本化学会、日本薬学会

(協賛) 日本分子生物学会、有機合成化学協会、
日本核酸医薬学会、近畿化学協会

第45回国際核酸化学シンポジウム(ISNAC2018)は、2018年11月7日から9日の3日間、京都大学百周年時計台記念館にて、日本および海外15カ国から339名の参加者を迎えて、日本核酸化学会第2回年會を兼ねて開催されました。細胞と京都の融合をイメージした学会ポスターを作成し、京都大学のイメージカラーである紺色を背景色にいたしました。

細胞生物学やケミカルバイオロジーに関連する核酸化学領域の研究の発展は著しく、新しい研究手法の開発が進んでおります。本大会で国を跨って多くの大学や企業の研究者や学生が一つの場に会し、共に顔を合わせて交流できたことは、核酸化学領域を繋ぐ重要な懸け橋となったと考えます。

今回は、Invited lectures として Michigan 大学 Nils G. Walter 博士、Kent State 大学 Hanbin Mao 博士、Sogang 大学 Kyubong Jo 博士、CNRS/UM Sébastien Lyonnais 博士をお招きし、講演していただきました。以下の7つのシンポジウムテーマを基に選考された口頭発表37題の研究成果が3日間で発表され、活発な質疑応答と討議が行われました。また、百周年記念館2階国際交流ホールにて、2日間に渡って熱気溢れる133題のポスター発表が行われました。

1. Chemistry of Nucleosides, nucleotides, and Their Analogues
2. Medicinal Chemistry of Nucleosides and Oligonucleotides
3. DNA / RNA Chemistry and Biochemistry
4. DNA / RNA Structure and Recognition
5. Ribozymes, siRNAs, and miRNAs
6. DNA / RNA Materials and Diagnostics
7. Drug Delivery Systems and Nanotechnology of Oligonucleotides

大会実行委員による厳正なる審査に基づいて、優秀な口頭講演発表者3名に大塚賞、ポスター発表者4名にポスター賞が授与されました。

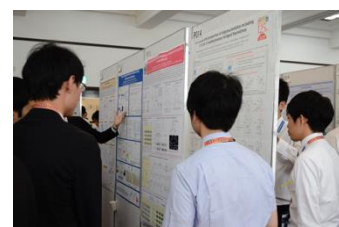
[大塚賞](敬称略):

Yasuaki Kimura (Nagoya University), Tingting Zou (Kyushu Institute of Technology), Hirotaka Murase (Tohoku University)

[ポスター賞](敬称略):

Fumitaka Hashiya (Kyoto University), Ji Hoon Han (Kyoto University), Jun Matsumoto (Osaka University), Orakan Hanpanich (Tokyo Institute of Technology)

最後に、本大会では、京都大学教育研究振興財団をはじめとする多くの方々からご支援、ご協



力いただいたこと、感謝申し上げます。